

さわやか医信 みんなのきずな



# 2025 \* DISCLOSURE

～信頼される医信を目指して～



(令和7年9月30日現在)

さわやか医信 みんなのきずな  
富山県医師信用組合

## ◎はじめに

富山県医師信用組合は、金融を通じて組合員である先生方の医業経営に関する事業の発展に寄与し、ひいては地域住民の医療および健康管理にお役に立ちたいと日々努力をしております。

ここに、令和7年度上半期（令和7年4月～9月）における当組合の経営情報を取りまとめましたので、ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧いただければ幸いでございます。

これからも、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ申しあげます。

令和7年11月

富山県医師信用組合  
理事長 村上美也子

## ◎事業方針

### ■基本的な考え方（経営理念）

当組合は昭和40年6月の創業以来、医業域信用組合として、組合員である開業医・勤務医の先生方に対し、相互扶助の精神を基本に、医業経営のアシスタントとなり、ひいては地域医療の発展に寄与することを経営理念としております。

### ■経営方針

- (1) 健全経営を念頭に、正確な事務処理、迅速な対応、親身な応対で良質な金融サービスの提供に努めることとします。
- (2) 法令等遵守を経営上の最重要課題のひとつと位置づけ、誠実かつ公正に業務を遂行します。

### ■運用方針

- (1) 組合員のニーズを発掘して、貸出金の増強に積極的に取り組みます。
- (2) 有価証券の運用は、安全性を重視した安定的な運用収益の確保に努めます。
- (3) 信用リスクや金利リスク等全てのリスクを認識し、統合的なりスク管理を実施します。

## ◎令和7年9月末仮決算の状況

### ■主要勘定

(単位:百万円、名)

勘定科目	6年9月末	7年9月末	前年同月比
預金・積金	38,318	37,047	△1,270
貸出金	7,938	8,275	337
預け金	13,245	9,403	△3,841
有価証券	24,569	25,828	1,258
経常収益(A)	202	249	47
経常費用(B)	99	119	20
経常利益(A-B)	102	129	26
業務純益	108	119	11
コア業務純益	108	119	10
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	108	119	10
当期純利益	78	98	20
組合員勘定合計	4,853	4,992	138
(うち出資金)	43	43	0
組合員数	1,358	1,391	33

## ◎貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業種別	令和6年9月末		令和7年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
金融・保険業	—	—	—	—
医療・福祉	4,491	56.5	5,009	60.5
個人	3,447	43.4	3,266	39.4
合計	7,938	100.0	8,275	100.0

## ◎有価証券時価情報

### ■満期保有目的

該当ありません。

### ■その他保有目的(令和7年9月末)

(単位:百万円)

	取得原価	B/S計上額	評価差額	うち益	うち損
国債	6,669	6,170	△499	10	509
地方債	2,875	2,708	△166	0	167
社債	12,402	11,773	△629	10	639
株式	2,052	3,769	1,716	1,741	24
投資信託	0	0	0	0	0
外国証券	1,502	1,407	△95	0	95
合計	25,502	25,828	325	1,762	1,436

■令和7年9月末貸借対照表

(単位:千円)

科 目	金 額	
( 資 産 の 部 )	令和6年9月末	令和7年9月末
現金	54,663	42,491
預け金	13,245,069	9,403,362
買入金銭債権	300,000	0
有価証券	24,569,610	25,828,094
国債	5,933,720	6,170,050
地方債	1,166,060	2,708,420
社債	12,709,470	11,773,200
株式	3,319,421	3,769,390
投資信託	—	—
外国証券	1,440,939	1,407,034
貸出金	7,938,688	8,275,876
割引手形	—	—
手形貸付	266,887	9,547
証書貸付	7,596,350	8,212,353
当座貸越	75,450	53,975
その他資産	106,493	108,853
未決済為替貸	1,252	957
全信組連出資金	34,700	34,700
未収収益	50,849	55,768
仮払金	130	347
その他の資産	19,560	17,080
有形固定資産	304,947	291,620
建物	264,837	258,621
土地	—	—
リース資産	—	—
建設仮勘定	—	—
その他の有形固定資産	40,109	32,999
無形固定資産	1,172	514
ソフトウェア	1,172	514
のれん	—	—
リース資産	—	—
その他の無形固定資産	—	—
縁延税金資産	—	—
再評価に係る縁延税金資産	—	—
債務保証見返	64,575	56,331
貸倒引当金	△94,563	△96,384
(うち個別貸倒引当金)	△58,582	△61,834
資 産 の 部 合 計	46,490,656	43,910,760

(単位:千円)

科 目	金 額	
( 負 債 の 部 )	令和6年9月末	令和7年9月末
預金積金	38,318,082	37,047,500
当座預金	—	—
普通預金	14,039,694	13,858,524
通知預金	—	—
定期預金	23,736,785	22,693,933
定期積金	504,739	466,130
その他の預金	36,861	28,912
借用金	2,400,000	1,400,000
その他負債	46,498	54,119
未決済為替借	2,355	924
未払費用	22,417	31,312
給付補てん備金	257	334
未払法人税等	16,577	17,361
未経過収益	4,180	3,435
未払諸税	650	741
払戻未済持分	60	10
退職給付引当金	62,886	65,517
役員退職慰労引当金	12,345	14,725
縁延税金負債	172,230	46,358
再評価に係る縁延税金負債	—	—
債務保証	64,575	56,331
負 債 の 部 合 計	41,076,618	38,684,552
( 純 資 産 の 部 )		
出資金	43,300	43,440
普通出資金	43,300	43,440
優先出資金	—	—
利益剰余金	4,810,671	4,949,359
利益準備金	45,140	45,140
その他利益剰余金	4,765,531	4,904,219
特別積立金	4,600,000	4,700,000
(うち目的積立金)	—	—
当期末処分剰余金	165,531	204,219
(又は当期末処理損失金)	—	—
組 合 員 勘 定 合 計	4,853,971	4,992,799
その他有価証券評価差額金	560,066	233,408
評価・換算差額等合計	560,066	233,408
純 資 産 の 部 合 計	5,414,038	5,226,208
負債及び純資産の部合計	46,490,656	43,910,760

■令和7年9月末損益計算書

(単位:千円)

科 目	令和6年9月末	令和7年9月末
経常収益	202,257	249,357
資金運用収益	199,033	235,906
貸出金利息	31,633	34,079
預け金利息	11,749	21,836
有価証券利息配当金	153,510	177,986
その他の受入利息	2,140	2,004
役務取引等収益	1,360	1,240
受入為替手数料	884	808
その他の役務収益	476	432
その他業務収益	1,833	2,287
国債等債券売却益	137	—
国債等債券償還益	—	432
その他の業務収益	1,696	1,854
その他経常収益	30	9,922
貸倒引当金戻入益	—	9,892
償却債権取立益	—	—
株式等売却益	—	—
その他の経常収益	30	30
経常費用	99,334	119,714
資金調達費用	11,996	37,070
預金利息	11,731	34,190
給付補てん備金繰入額	142	195
借用金利息	123	2,684
役務取引等費用	4,771	5,581
支払為替手数料	959	982
その他の役務費用	3,811	4,599
その他業務費用	—	—
国債等債券売却損	—	—
国債等債券償還損	—	—
国債等債券償却	—	—
その他の業務費用	—	—
一般貸倒引当金繰入額	577	—
経費	76,411	77,061
人件費	38,244	39,359
物件費	33,196	36,717
税金	4,970	984
その他経常費用	5,576	—
貸倒引当金繰入額	4,921	—
貸出金償却	—	—
その他資産償却	—	—
その他の経常費用	655	—
経常利益	102,923	129,643

(単位:千円)

科 目	令和6年9月末	令和7年9月末
特別利益	—	—
固定資産処分益	—	—
負ののれん発生益	—	—
償却債権取立益	—	—
その他の特別利益	—	—
特別損失	—	—
固定資産処分損	—	—
減損損失	—	—
その他の特別損失	—	—
税引前当期純利益	102,923	129,639
法人税・住民税及び事業税	24,789	27,278
法人税等調整額	△37	3,797
当期純利益	78,172	98,564
前期繰越金	87,358	105,655
積立金取崩額	—	—
当期末処分剰余金	165,531	204,219

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## ◎単体自己資本の充実の状況

(単位:百万円、%)

	令和6年9月末	令和7年9月末
自己資本額	4,888	5,026
リスク・アセット等の合計額	20,600	20,673
単体自己資本比率	23.73	24.31

## ◎銀行勘定の金利リスク

(単位:百万円)

I R R B B (金利リスク)	令和6年9月末	令和7年9月末
△ E V E (最大値)	1,211	1,237
△ N I I	104	116

## ◎金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

当組合は、金融再生法に基づき、貸出金等の対象債権について、自己査定と引当を行っています。  
令和7年9月末現在の残高は次のとおりとなっております。

(単位:千円、%)

区分	令和6年9月末	令和7年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	85,353	62,042
危険債権	—	142,580
要管理債権	—	—
不良債権計(A)	85,353	204,622
正常債権	7,917,910	8,128,351
合計	8,003,263	8,333,974
担保・保証等(B)	26,772	142,788
貸倒引当金(C)	58,581	61,834
保全額合計(D) = (B) + (C)	85,354	204,622
担保・保証等による保全率(D/A)	100.00	100.00
貸倒引当金引当率(C/A - B)	100.00	100.00
不良債権比率	1.06	2.45

- 注1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態に至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保保証(B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

## ◎地域貢献

### ■地域に貢献する信用組合の経営姿勢

当組合は、相互扶助の精神を根幹に置き、金融を通して組合員である先生の医業経営発展のお手伝いをすること、このことが地域住民の医療や健康管理に寄与し、ひいては「地域貢献」に繋がると考えております。

### ■融資を通じた地域貢献

当組合は次の点を大切にして融資業務を推進してまいります。

- (1) ご融資のお申し出には、早急に結論を出し迅速な手続きをします。
- (2) ご融資の条件などは、先生のサイドに立って、「借りやすさ」を醸成します。
- (3) そのためにも、健全経営に徹し、組合員の皆様の一層の信頼が得られるよう努めてまいります。

### ■令和7年上期組合員融資の現状

#### (1) 融資残高の推移

(単位:百万円、先)

	令和6年9月末	令和7年9月末	前年同月比
残 高	7,938	8,275	337
年 間 増 加 額	648	337	△311
利 用 者 数	293	310	17

#### (2) 資金使途別組合員貸出利用状況

(単位:件、百万円、%)

	件 数	金 額	構 成 比
住 宅	5	181	22.9
教 育 資 金	2	7	0.9
自 動 車	23	98	12.5
そ の 他 消 費 資 金	0	0	0.0
診 療 所 等 設 備	10	454	57.5
運 転 資 金	5	19	2.4
他 行 肩 代 わ り	1	28	3.6
合 計	46	789	100.0

# 富山県医師信用組合

〒939-8214 富山市黒崎33番地  
電話 (076) 429-6272  
FAX (076) 429-6467